

平成25年行政事業レビューシート

(文部科学省)

<b>事業名</b>	児童生徒の現代的健康課題への対応事業		<b>担当部局庁</b>	スポーツ・青少年局		<b>作成責任者</b>	学校健康教育課長 大路 正浩	
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成17年度・未定		<b>担当課室</b>	学校健康教育課		学校健康教育課長 大路 正浩		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>政策・施策名</b>	確かな学力の向上、豊かな心と健やかな体の育成と信頼される学校づくり II-4 健やかな体の育成及び学校安全の推進				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	学校保健安全法 第3条、第8条、第9条、第10条		<b>関係する計画、通知等</b>	学校保健法等の一部を改正する法律案に対する附帯決議 (平成20年6月10日参議院文教科学委員会) 中央教育審議会答申(平成20年1月17日)				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	学校における児童生徒の保健管理の効果的な取組を推進するうえで、教師が正しく現状を把握し適切な対応を行うことができるよう喫緊の健康課題についての調査研究を行い、学校保健の一層の充実を図る。近年、児童生徒の身体的・生理的発達が早まっており、性に関する意識や価値観が多様化するとともに、児童生徒を取り巻く家庭環境や社会環境も大きく変化している。このような中、性の逸脱行為や若年層の性感染症の増加が問題となっており、学校における性教育の充実を図る必要がある。また、学校におけるアレルギー疾患への対応が重要となってきたことから、アレルギー疾患に対する理解促進の充実を図る。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	アレルギー疾患やメンタルヘルスに関する課題など児童生徒の現代的な健康課題に対して、教師が正しく現状を把握し適切に対応を行うことができるよう、講習会や指導参考資料の作成等を行う。また、学校において適切な性に関する指導が実施されるよう、各地域における指導者養成と普及を目的とした研修会を行う。							
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	60	41	39.1	27.4	49.2	
		補正予算	-	△1	△0.2			
		繰越し等	-	△5	-			
		計	60	35	38.9	27.4	49.2	
	執行額		52	29	33.2			
執行率(%)		86.7%	82.9%	85.3%				
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	児童生徒の現代的健康課題に対する適切な対応が図られるよう講習会等を開催する事業であり、定量的な成果目標等を定めることは困難であるが、アレルギー講習会のアンケート結果では、講習会の満足度はほぼ100%となっている。			成果実績	—	—	—	—
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	①-1	性に関する普及推進事業の実施箇所数(20年度～)	活動実績 (当初見込み)	箇所	22 (22)	19 (22)	22 (22)	- (22)
	①-2	性教育の効果的指導方法実践研究実施箇所数(20年度～)	活動実績 (当初見込み)	箇所	1 (1)	- (0)	- (0)	- (0)
	②-1	心のケアシンポジウムの参加総数(20年度～)	活動実績 (当初見込み)	人	329 (400)	616 (400)	363 (700)	- -
	②-2	心のケア指導参考資料部数(20年度～)	活動実績 (当初見込み)	部	2,828,298 (84,000)	83,000 (84,000)	0 (84,000)	- -
	③	アレルギー講習会の開催か所数(22年度～)	活動実績 (当初見込み)	箇所	6 (6)	6 (6)	6 (6)	- (6)
<b>単位当たりコスト</b>	①-1 413,636(円/か所)			算出根拠	①-1 単位当たりコスト=9.1百万円(性に関する普及推進事業支出額)/実施箇所数(22か所)			
	②-1 2,309(円/人)			算出根拠	②-1 単位当たりのコスト=838,060円(シンポジウム経費)/シンポジウム参加者数(363人)			
	③ 500,000(円/か所)			算出根拠	③ 単位当たりのコスト=3百万円(アレルギー講習会の開催支出額)/開催か所数(6か所)			
平成25・26年度 予算 内訳	<b>費目</b>	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0.7百万円	3.2百万円	「心のケア対策推進事業」をメニュー化し、本事業に統合。				
	職員旅費	0.8百万円	1.2百万円					
	委員等旅費	0.9百万円	3.3百万円					
	教職員研修費	4.9百万円	21.6百万円					
	初等中等教育等振興事業委託費	20.1百万円	19.9百万円					
計	27.4百万円	49.2百万円						

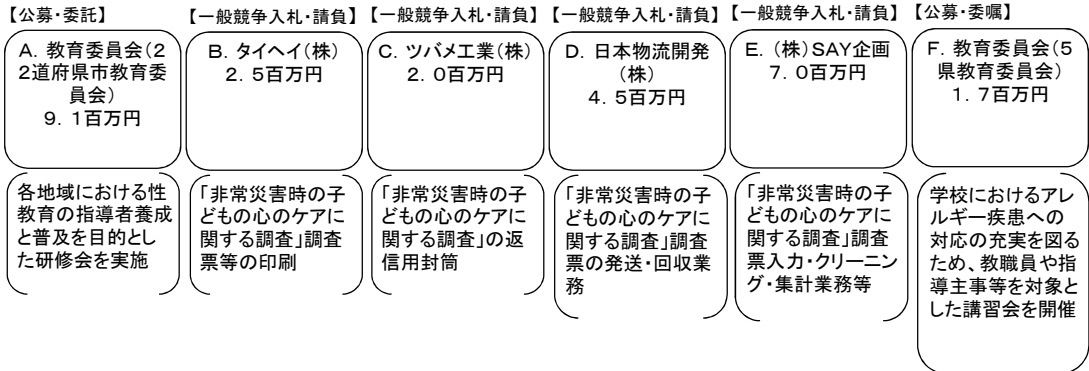
事業所管部局による点検					
	項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	本事業は、アレルギーやメンタルヘルスなどの現代的な健康課題や性の問題に対し、学校において適切な指導が図られるよう、講習会等の開催を行うものであり、国として実施していく必要がある。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	-			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	支出先の選定に当たっては、十分な公告期間を確保した上で公募及び一般競争入札を実施しており、その妥当性や競争性を確保した。また、委託等に当たっては、事業経費の費目・使途の内容を厳正に審査するなど、その必要性について厳正にチェックしている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。	○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	本事業で作成予定であった「心のケア指導参考資料」については、東日本大震災等による子供の心身への影響等を考慮する必要性が生じたため、平成24年度は非常災害時の子どもの心のケアに関する調査を実施することとし、指導参考資料の作成は平成25年度以降に実施することとした。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	△			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-			
	事業番号	類似事業名			所管府省・部局名
点検結果	<p>・予算の執行状況に係る点検方法については、事業完了報告書等の証拠書類により適切な執行が行われているか確認している。</p> <p>・本事業は、学校における児童生徒の保健管理の効果的な取組の推進に必要な事業であり、事業内容及び予算の執行状況等に問題はなく、引き続き実施すべきものと判断している。</p> <p>・「心のケア指導参考資料」の作成については、当初予定と活動実績に乖離が生じているが、平成25年度においては、予算規模・事業内容を精査し、より効率的・効果的なものとなるよう、新規事業の一部として見直しを行っている。</p>				
外部有識者の所見					
外部有識者による点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
事業内容の改善	<p>1. 事業評価の観点:本事業は、学校における児童生徒の保健管理の効果的な取組を推進するうえで、教師が正しく現状を把握し適切な対応を行うことができるよう喫緊の健康課題についての調査研究を行い、学校保健の一層の充実を図ることを目的とした事業であり、事業開始から5年以上経過していることから長期継続契約や予算執行の観点から検証を行った。</p> <p>2. 執行率は80%を超えているが、長期継続事業であり、毎年度恒常的に予算に一定の不用が生じていることから、引き続き事業内容を精査するとともに、予算執行の実績を的確に把握し予算との差異の要因等を十分精査し、予算の見直しを図るべきである。</p>				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
縮減	<p>本事業については、支出先の選定に当たって、十分な公告期間を確保した上で公募及び一般競争入札を実施しており、その妥当性や競争性を確保している。その結果、契約価格が当初の予定を下回ったものと分析しているが、平成26年度以降も同様の取組を継続して実施するものとし、また平成24年度決算で生じた不用額を踏まえ、概算要求に▲0.2百万円反映した。</p>				
備考					
<p>※児童生徒の現代的健康課題への対応事業 平成22年度「児童生徒の現代的健康課題への学校における取組に関する調査研究」と「性に関する教育普及推進事業」を統合し、「児童生徒の現代的健康課題への対応事業」とした。 平成23年度「児童生徒の現代的健康課題への対応事業」に、「学校におけるアレルギー疾患に対する普及啓発講習会の開催」と「心のケア対策推進事業」を統合。</p> <p>○学校保健法等の一部を改正する法律案に対する附帯決議(平成20年6月10日参議院文教科学委員会) <a href="http://www.sangiin.go.jp/japanese/gianjoho/ketsugi/169/f068_061001.pdf">http://www.sangiin.go.jp/japanese/gianjoho/ketsugi/169/f068_061001.pdf</a></p> <p>○「子どもの心身の健康を守り、安全・安心を確保するために学校全体として取組を進めるための方策について」 (平成20年1月17日 中央教育審議会答申) <a href="http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/_icsFiles/afieldfile/2009/01/14/001_4.pdf">http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/_icsFiles/afieldfile/2009/01/14/001_4.pdf</a></p> <p>○学校において予防すべき感染症の解説 <a href="http://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/1334054.htm">http://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/1334054.htm</a></p> <p>○非常災害時の子どもの心のケアに関する調査 <a href="http://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/1337762.htm">http://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/1337762.htm</a></p>					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	0090/0092/0093	平成23年	0319	平成24年	0342

文部科学省  
33.2百万円

諸謝金 0.8百万円  
職員旅費 0.7百万円  
委員等旅費 1.1百万円  
教職員研修費 3.8百万円

を含む

アレルギー疾患やメンタルヘルスに関する課題など児童生徒の現代的な健康課題に対して、教師が正しく現状を把握し適切な対応を行うことができるよう、講習会や指導参考資料の作成等を行う。また、学校において適切な性に関する指導が実施されるよう、各地域における指導者養成と普及を目的とした研修会を行う。



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.福島県教育委員会			E.(株)SAY企画		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
印刷製本費	研修会資料印刷費	0.8	雑役務費	「非常災害時の子どもの心のケアに関する調査」調査票入力・クリーニング・集計業務等	7.0
諸謝金	研修会講師謝金	0.2			
その他	研修会講師旅費、研修会場借料、消耗品費	0.2			
計		1.2	計		7.0
B.タイヘイ(株)			F.教育委員会		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
印刷製本費	「非常災害時の子どもの心のケアに関する調査」調査票等の印刷	2.5		※1件百万円未満のため省略	
計		2.5	計		0
C.ツバメ工業(株)			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
消耗品費	「非常災害時の子どもの心のケアに関する調査」の返信用封筒	2.0			
計		2.0	計		0.0
D.日本物流開発(株)			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
通信運搬費	「非常災害時の子どもの心のケアに関する調査」調査票の発送・回収業務	4.5			
計		4.5	計		0

支出先上位10者リスト

A. 性に関する指導普及推進事業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	福島県教育委員会	性教育の指導者養成と普及を目的とした研修会を県内6か所で行う。	1.2	企画競争	—
2	高知県教育委員会	校内で中心的指導者となる教職員の養成と指導力の向上のための「性に関する指導」普及推進指導者研修会等を実施、また普及のための「高知県「性に関する指導」普及推進事業報告会」を実施。	1.1	企画競争	—
3	青森県教育委員会	WYSH教育全国研修会へ2名を派遣することで、指導者養成を実施、また、普及のための「性に関する教育指導者研修会」を実施。	0.7	企画競争	—
4	岩手県教育委員会	指導者養成のための地区研修会、普及のための性教育指導者研修会を実施。	0.5	企画競争	—
5	愛媛県教育委員会	WYSH教育全国研修会へ2名を派遣することで、指導者養成を実施し、性に関する教育研修会において実践発表を行うことで、性教育の普及を図った。	0.5	企画競争	—
6	北海道教育委員会	各種研修会において、全国研修会へ派遣した教諭、養護教諭が講師として実践発表を行うことで、性に関する指導の普及を図った。	0.4	企画競争	—
7	大阪府教育委員会	児童・生徒の発達段階に応じた「性に関する指導」指導者研修会を4回開催し、養護教諭16名、教諭6名を指導者として養成。また、児童・生徒の発達段階に応じた「性に関する指導」普及研修を2回実施。	0.4	企画競争	—
8	熊本市教育委員会	WYSH教育全国研修会へ小学校教諭1人、中学校教諭1人を派遣し、各学校において授業を公開することで授業研究会を実施。また、性教育の普及を目的とした性教育研修会、学校保健研修会を開催。	0.4	企画競争	—
9	埼玉県教育委員会	学校における性に関する指導の充実を図るため、学習指導の実践研究、普及啓発が行われるよう研修会を実施、また、児童生徒の発達段階に応じた効果的な集団指導の指導法について、その考え方、進め方を情報提供するための保健学習授業研究会・研究協議会を実施。	0.4	企画競争	—
10	千葉県教育委員会	学校における性教育に関する指導についての行政説明、性に関する指導の実践事例の発表、思春期における子どもたちへの性と生の教育をテーマとしたシンポジウムによる、性教育の指導者養成と普及を目的とした研修会を実施	0.4	企画競争	—

B. 「非常災害時の子どもの心のケアに関する調査」調査票等の印刷

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	タイヘイ(株)	「非常災害時の子どもの心のケアに関する調査」調査票等の印刷	2.5	5	66.39%

C. 「非常災害時の子どもの心のケアに関する調査」の返信用封筒購入

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ツバメ工業(株)	「非常災害時の子どもの心のケアに関する調査」の返信用封筒購入	2.0	随意契約	—

D. 「非常災害時の子どもの心のケアに関する調査」調査票の発送・回収業務

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本物流開発(株)	「非常災害時の子どもの心のケアに関する調査」調査票の発送・回収業務	4.5	8	100%

E. 「非常災害時の子どもの心のケアに関する調査」調査票入力・クリーニング・集計業務等

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)SAY企画	「非常災害時の子どもの心のケアに関する調査」調査票入力・クリーニング・集計業務等	7.0	5	76.57%

F. アレルギー講習会の実施

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	宮崎県教育委員会	学校におけるアレルギー疾患への対応、保育所におけるアレルギー対応ガイドライン、学校等における食物アレルギー及びアナフィラキシーショックへの対応についての実践事例発表・講習を実施	0.4	委嘱	—
2	岩手県教育委員会	学校におけるアレルギー疾患への対応、保育所におけるアレルギー対応ガイドライン、適切な食物アレルギー・アナフィラキシー対応、エビイベント実施についての実践事例発表・講習を実施	0.4	委嘱	—
3	高知県教育委員会	学校におけるアレルギー疾患への対応、保育所におけるアレルギー対応ガイドライン、学校における食物アレルギー及びアナフィラキシーショックへの対応についての実践事例発表・講習を実施	0.4	委嘱	—
4	新潟県教育委員会	学校におけるアレルギー疾患への対応、保育所におけるアレルギー対応ガイドライン、適切な食物アレルギー・アナフィラキシー対応についての実践事例発表・講習を実施	0.3	委嘱	—
5	千葉県教育委員会	学校におけるアレルギー疾患への対応、保健所におけるアレルギー対応ガイドライン、適切な食物アレルギー・アナフィラキシー対応についての実践事例発表・講習を実施	0.2	委嘱	—